



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月7日

上場会社名 川本産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3604 URL <https://www.kawamoto-sangyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)水上 博司  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画室室長 (氏名)吉田 康晃 (TEL)06(6943)8951  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,091	3.0	△29	—	8	△91.3	△28	—
2018年3月期第3四半期	17,558	—	86	—	102	—	85	—

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 △114百万円 ( —%) 2018年3月期第3四半期 225百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	△4.93	—
2018年3月期第3四半期	14.67	—

(注) 当社は、2018年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、2018年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	14,464	3,717	25.2
2018年3月期	14,205	3,850	26.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 3,648百万円 2018年3月期 3,767百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、2018年3月期につきましては遡及適用後の数値を記載しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	7.5	320	209.0	350	163.9	240	62.4	41.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	6,000,000株	2018年3月期	6,000,000株
2019年3月期3Q	204,366株	2018年3月期	204,283株
2019年3月期3Q	5,795,669株	2018年3月期3Q	5,795,717株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に伴う設備投資の増加や雇用・所得環境の改善を背景とした緩やかな個人消費の回復、海外経済の成長を背景とした輸出の増加等の要因により、緩やかな回復基調が続きました。一方で、原油高などを受けた原材料価格の高騰や米国を中心とした貿易摩擦の激化・長期化が懸念され、先行きへの不透明感も高まっています。

当社が属する医療用品・介護用品の業界におきましては、社会保障費の増大に対する改革の必要性を背景にコスト削減圧力が高まっており、価格競争が激化しております。また、医療の機能分化や地域包括ケアの推進など医療・介護のあり方も変革の最中にあり、事業環境変化への対応が求められています。育児用品の業界におきましては、2017年の国内出生数が過去最低を更新するなどマーケット縮小に直面しており、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況下で、当社グループは原価低減やコスト管理強化により筋肉質な収益体質の構築に取り組むとともに、単なる値下げ競争による売上拡大とは一線を画した付加価値・独自性に軸を置いた事業活動への転換を図っております。また、第2四半期連結会計期間に発生した当社得意先の手形不渡りに伴う貸倒費用が増加した影響等から販売費及び一般管理費が増加いたしました。これらの結果、当社の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は18,091,664千円（前年同四半期比3.0%増加）、営業損失は29,962千円（前年同四半期は86,956千円の営業利益）、経常利益は8,890千円（前年同四半期比91.3%減少）、親会社株主に帰属する四半期純損失は28,589千円（前年同四半期は85,051千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の分析は変更後の区分に基づいております。

#### (医療用品等製造事業)

感染予防関連製品、口腔ケア製品、手術関連製品その他高付加価値品を中心に販売拡充に努めました。しかしながら、値下げ競争による売上拡大からの脱却を図った影響等により売上高は6,032,243千円（前年同四半期比6.7%減少）に留まりました。

売上高減少に対処すべくコスト低減に取り組んでいるものの、売上高減少による生産稼働率の低下を補うまでには至らなかったこと、連結グループ間で生じた未実現利益の消去仕訳の影響や販管費増大等により経常損失は129,332千円（前年同四半期は10,160千円の経常損失）となりました。

#### (医療・育児用品等卸売事業)

医療用品・介護用品・ベビー用品等を、医療機関・大手量販店・ドラッグストアや通信販売事業者など幅広い顧客に対し積極的に販売いたしました。重点顧客への販売が好調に推移した結果、売上高は12,059,421千円（前年同四半期比8.7%増加）となりました。しかしながら、得意先への売掛債権に対する貸倒費用が増加した影響等により経常利益は433,232千円（同1.6%減少）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,464,332千円、自己資本は3,648,326千円で、自己資本比率は25.2%（前連結会計年度末は26.5%）となりました。

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は14,464,332千円となり、前連結会計年度末に対して259,158千円増加いたしました。

流動資産は11,451,039千円で、前連結会計年度末に対して494,833千円増加いたしました。「受取手形及び売掛金」に「電子記録債権」を加えた売上債権が277,875千円増加したことが主な要因です。

固定資産は3,013,293千円で、前連結会計年度末に対して235,675千円減少いたしました。旧営業所の売却により「有形固定資産」が133,934千円減少したことが主な要因です。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は10,746,473千円となり、前連結会計年度末に対して392,053千円増加いたしました。

流動負債は7,111,390千円で、前連結会計年度末に対して1,490,118千円減少いたしました。「1年内返済予定の長期借入金」が1,715,190千円減少したことが主な要因です。

固定負債は3,635,083千円で、前連結会計年度末に対して1,882,172千円増加いたしました。「長期借入金」が1,862,740千円増加したことが主な要因です。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は3,717,859千円となり、前連結会計年度末に対して132,895千円減少いたしました。「利益剰余金」が45,895千円減少、その他の包括利益累計額のうち「その他有価証券評価差額金」が39,336千円減少、「為替換算調整勘定」が47,692千円減少したことが主な要因です。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月10日公表の業績予想に変更はありません。今後、通期の業績見込について見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	513,291	688,790
受取手形及び売掛金	4,197,085	4,162,950
電子記録債権	3,451,404	3,763,415
商品及び製品	1,606,168	1,682,309
仕掛品	336,211	324,610
原材料及び貯蔵品	113,798	127,300
その他	740,686	714,449
貸倒引当金	△2,442	△12,786
流動資産合計	10,956,205	11,451,039
固定資産		
有形固定資産	1,518,889	1,384,955
無形固定資産		
のれん	270,170	246,139
その他	273,392	249,906
無形固定資産合計	543,563	496,045
投資その他の資産		
その他	1,213,564	1,193,282
貸倒引当金	△27,048	△60,989
投資その他の資産合計	1,186,515	1,132,292
固定資産合計	3,248,969	3,013,293
資産合計	14,205,174	14,464,332

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,571,118	3,328,305
短期借入金	500,000	1,200,000
関係会社短期借入金	1,200,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	2,432,990	717,800
未払法人税等	52,896	—
賞与引当金	119,354	49,338
売上割戻引当金	194,224	176,486
その他	530,925	489,459
流動負債合計	8,601,509	7,111,390
固定負債		
長期借入金	1,058,489	2,921,230
退職給付に係る負債	534,057	545,175
資産除去債務	35,684	28,642
その他	124,678	140,034
固定負債合計	1,752,910	3,635,083
負債合計	10,354,419	10,746,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	883,000	883,000
資本剰余金	1,192,597	1,192,597
利益剰余金	1,298,307	1,252,411
自己株式	△74,261	△74,302
株主資本合計	3,299,642	3,253,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	397,308	357,972
為替換算調整勘定	29,573	△18,119
退職給付に係る調整累計額	40,884	54,766
その他の包括利益累計額合計	467,766	394,619
非支配株主持分	83,345	69,533
純資産合計	3,850,754	3,717,859
負債純資産合計	14,205,174	14,464,332

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	17,558,821	18,091,664
売上原価	14,832,025	15,243,659
売上総利益	2,726,795	2,848,004
販売費及び一般管理費	2,639,839	2,877,967
営業利益又は営業損失(△)	86,956	△29,962
営業外収益		
受取利息	448	537
受取配当金	14,889	16,072
仕入割引	58,801	57,749
その他	11,252	6,365
営業外収益合計	85,390	80,725
営業外費用		
支払利息	20,983	17,917
売上割引	9,933	8,749
その他	39,059	15,204
営業外費用合計	69,976	41,871
経常利益	102,370	8,890
特別利益		
固定資産売却益	3,638	28,299
投資有価証券売却益	23,359	—
特別利益合計	26,997	28,299
特別損失		
固定資産除売却損	14	31,299
減損損失	3,556	—
投資有価証券評価損	—	855
事務所移転費用	21,257	—
特別損失合計	24,828	32,155
税金等調整前四半期純利益	104,540	5,034
法人税、住民税及び事業税	22,328	9,040
法人税等調整額	△2,839	33,838
法人税等合計	19,488	42,879
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,051	△37,844
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△9,255
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	85,051	△28,589



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	85,051	△37,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	109,422	△39,336
為替換算調整勘定	9,045	△51,628
退職給付に係る調整額	21,973	13,881
その他の包括利益合計	140,440	△77,083
四半期包括利益	225,492	△114,927
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,492	△101,735
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△13,191

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	医療用品等製造事業	医療・育児用品等卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,464,797	11,094,024	17,558,821	—	17,558,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,464,797	11,094,024	17,558,821	—	17,558,821
セグメント利益又は損失(△)	△10,160	440,084	429,923	△327,553	102,370

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△327,553千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「医療用品等製造事業」セグメントにおいて、浙江川本衛生材料有限公司の持分を取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては268,813千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	医療用品等 製造事業	医療・育児用品等 卸売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,032,243	12,059,421	18,091,664	—	18,091,664
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,032,243	12,059,421	18,091,664	—	18,091,664
セグメント利益又は損失(△)	△129,332	433,232	303,900	△295,010	8,890

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△295,010千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益の額であります。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更による事業管理区分の変更に伴い、報告セグメントを従来の「メディカル」「コンシューマ」から「医療用品等製造事業」「医療・育児用品等卸売事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。